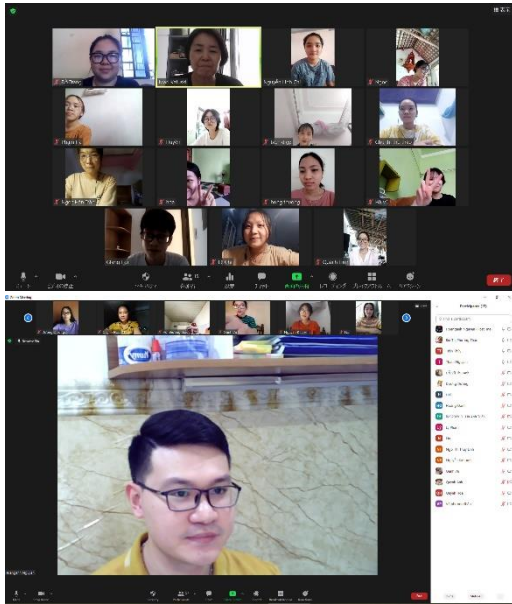


ベトナム国タイビン省にある国立タイビン医科薬科大学と当社との共同事業であるベトナム人看護師養成事業について、最新の情報をお届けします。

## ▶ オンライン授業を行なっています



ベトナムでは4月以降、市中感染が広がり、現在第4波の真っ只中にあります。大学のあるタイビン省でも陽性者が出ており、陽性者と接触があったとして隔離されている者も多くいます。それにより、幼稚園から大学まで全ての教育機関は閉鎖され、10名以上で集まることが禁止されました。日本語クラスを含め、全ての科目がオンラインでの講義を余儀なくされています。

学生からは「今はオンラインが一番良い方法。知識を得るだけでなく、コロナを防止することもできる」「家で復習する時間がある」「便利、スクリーンショットや録画が簡単にできる」「本や宿題を忘れることがない」といった前向きな意見があがる一方、「回線が不安定」「退屈になりやすい」「画面を長時間見ていると目が痛い」といった声もありました。

やはり大学で友人と過ごす時間は何にも代えがたく、誰もが今の状況を理解しながらも対面授業の再開を心待ちにしています。

また、その気持ちは日本語クラスを担当する先生たちも同じです。今回は先生たちの声を紹介します。

オンライン授業では、必要なときにすぐ動画を見せたり、知識を定着させるための色々なゲームを体験させることが手軽にできました。映像で説明した方が効果的なこともあるので、これはオンラインの利点のひとつです。授業中は学生にカメラをオンにするよう求め、彼を常に観察しています。そのため、ほとんどの学生は真面目に授業に臨んでいます。回線が不安定なときがあるので、録画しています。授業中に理解できなかった部分を繰り返し見ることができるので、理解を深めるのに役立つと思います。

(ベトナム人教師)

実家で受講している学生の後ろをご家族が通ったり、声が聞こえてくることもあります。大学では見ることのできない学生の一面を垣間見て、ほのぼのとした気持ちになりました。授業では、オンラインの都合上、一斉に発話したり、教師の問いかけに時間差なしに返答することは難しいです。成績が芳しくなかった学生が、今まで隣で助けてくれていたクラスメートがいないので一人で考えなくてはならないといういい点も生まれました。日本の学生と違い、家にパソコンやプリンターがない学生が多いです。小テストや宿題の実施が難しい面がありますが、対面授業再開まで工夫しながら取り組んでいきます。

(日本人教師)

オンラインでは隣の学生と私語をすることができませんし、教師の質問にすぐに答えなければなりません。従って、居眠りをしたり、教師の話聞いていない学生はいません。学生の通信環境によっては途中で途切れたりスムーズに進まないこともあります。皆、一生懸命頑張っています。また、教師と学生によるSNSのグループで疑問を解消したり、資料を提供したりしています。

(ベトナム人教師)

【問い合わせ】



株式会社イノベーションオブメディカルサービス

(担当：高橋・福田)

神奈川県厚木市船子 587-1

Tel/046-220-0777

Fax/046-220-0322

Web/http://vietnam-nurse.com/